| 区分 | 科目名 | 担当教員 | 実務経験 | 学年 | 時数 | 時期 | 種別 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実習 | 基本計測 | 柴田　直毅 | メーカー系<br>自動車販売会社<br>自動車整備士 | 1 | 57 | 通年 | 必修 |

| | |
|---|---|
| 授業の概要 | 自動車の点検や、修理に使用する測定機器の正しい使用方法を学ぶ。 |
| 授業の進め方 | エンジンや、タイヤなどの部品を用いて、測定作業を行う。 |
| 到達目標 | 正しい測定方法や体勢などを習得し、測定誤差を無くす。 |

講義内容

| 時間 | 項目 | 目標 |
|---|---|---|
| 1<br>～<br>28 | ①測定概要<br><br>②実測作業 | ①測定作業の必要性や基礎を理解し、自動車の点検、<br>修理においての測定作業の重要性を理解する。<br><br>②ノギス、ダイヤルゲージ、マイクロメータ、デプスゲージなどを<br>使用して正しい測定方法、測定時の体勢などを身に付ける。 |
| 29 | 前期中間試験 | 履修した内容について、試験を実施する。 |
| 30<br>～<br>57 | エンジンの分解・組立作業と<br>分解部品の点検・測定作業 | エンジンの分解・組立作業において各部品の測定方法を修得し、<br>測定作業をとおして、部品の良否の判定要領を身に付ける。 |

| | |
|---|---|
| 成績評価方法 | 定期試験・80点、平常点・20点（※レポート提出、課題の出来、小テストなども含む）　計：100点<br>定期試験点数、平常点の合計点に出席率を乗じ得点を算出し最終評価を行う |
| 定期試験 | 前期中間試験 |
| 教科書・配布物 | 全国自動車大学校・整備専門学校協会　教科書「自動車整備工具・機器」<br>関係資料（プリント） |
| アドバイス | 今後の実習の基礎となる作業になります。実習での測定作業時に難なく行えるように、<br>この実習で基礎を身に付けてください。 |